

# 大阪城公園と京橋駅を繋ぐ道路空間の再編とエリアマネジメント組織の管理運営による持続的な賑わい創出を目的とした現地実証実験(大阪府大阪市)

## 1. 実験実施の背景

- ・国際観光拠点(大阪城公園)とターミナル駅(京橋駅)との回遊性向上が必要
- ・パークアベニューに歩行者優先の道路として位置付けがないため、人の流れを生み出すための整備や取組みが不足
- ・沿道店舗だけでは京橋駅及び大阪城公園との賑わいの連続性が不十分

## 2. 検証項目

- 道路空間の再編による食事・購買施設設置(常設想定)における課題・効果検証
  - ①賑わい創出の効果
  - ②エリアマネジメント組織による管理運営の継続性
  - ③自動車交通への影響
- 路上イベント等(仮設想定)の実施における課題・効果検証
  - ④路上イベント等による集客効果
  - ⑤路上イベント等の収益の道路空間管理運営への還元効果

## 3. 今回の実験内容及び結果

【実験区間】 市道:京橋大阪城線 パークアベニュー

【実験内容】

- 道路空間の再編による食事・購買施設設置(常設想定)における課題・効果検証
- ・パークアベニューの車道(幅員9m)を封鎖し、封鎖した車道空間に将来的に常設を想定した食事・購買施設(キッチンカー)を設置

- ①賑わい創出の効果
  - ・来場者・地区内就業者へのアンケート調査
- ②エリアマネジメント組織による管理運営の継続性
  - ・収益性・収益還元による維持管理の実現性検証
- ③自動車交通への影響
  - ・交通量調査による渋滞発生等の検証
- 路上イベント等(仮設想定)の実施における課題・効果検証
  - ・封鎖した車道空間を活用した路上イベント(マルシェ・企業プロモーション等)を実施
  - ④路上イベント等による集客効果
    - ・利用者へのアンケート調査
  - ⑤路上イベント等の収益の道路空間管理運営への還元効果
    - ・出店者へのアンケート調査、未出店企業へのヒアリング

【実施期間】 平成27年10月8日(木)～平成27年10月11日(日)



図-1 位置図



図-2 詳細実験位置図

# 大阪城公園と京橋駅を繋ぐ道路空間の再編とエリアマネジメント組織の管理運営による持続的な賑わい創出を目的とした現地実証実験(大阪府大阪市)

## 4. 検証結果

### ●道路空間の再編による食事・購買施設設置(常設想定)における課題・効果検証

#### ①賑わい創出の効果

- ・来街者の約9割、就業者の約7割が取り組み常設化を好評価
- ・平日・休日とも歩行者交通量が増加

#### ②エリアマネジメント組織による管理運営の継続性

- ・キッチンカー出店者 10割、マルシェ出店企業 9割以上が出店に魅力を感じた

#### ③自動車交通への影響 (交差点需要率・車線交通容量比)

- ・歩行者専用道路化・車両通行止による周辺の交通量への大きな影響はなし

### ●路上イベント等(仮設想定)の実施における課題・効果検証

#### ④路上イベント等による集客効果 (来場者アンケート)

- ・利用コンテンツ数は全体値を上回り、イベント併設による全体の集客効果を確認
- ・約1/4が周辺イベントへの参加を回答し、周辺イベントとの相乗効果を確認

#### ⑤路上イベント等の収益の道路空間管理運営への還元効果

- ・日当りロイヤリティ キッチンカー:約1.8万円/店舗(日平均売上実績 約14万円/店舗)  
(ロイヤリティ13%仮定) マルシェ :約0.7万円/店舗(日平均売上実績 約5.5万円/店舗)

- ・出店者アンケートによる可能なロイヤリティ率(=還元率)平均値 キッチンカー 12.7%、マルシェ 13.0%

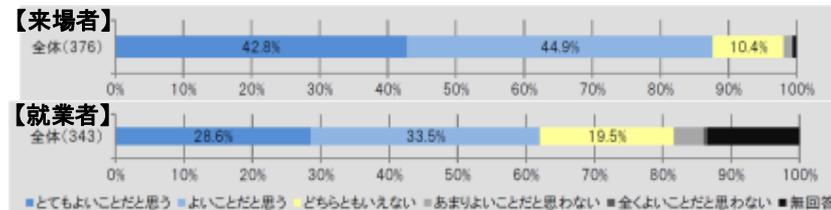


図-3 常設化に対する評価

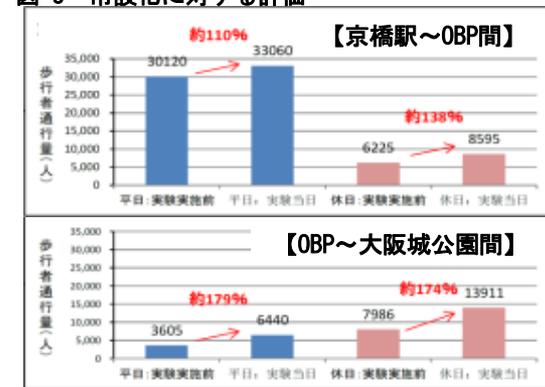


図-4 社会実験前後の歩行者交通量の変化

## 5. 実験後の展開、明らかになった課題等

#### (1) 利活用方法に応じた道路の整備計画の検討

- ・交通規制に伴い社用車の配置・運用を通常時から変更する必要となった企業があったため、道路断面構成等の検討が必要
- ・大阪ビジネスパーク地区内の自転車道線・駐輪場等の検討が必要
- ・歩道と車道が横断防止により分離、一体的利用が困難なため、車歩道境界のあり方の検討が必要

#### (2) イベント収益還元による道路空間の硬質な管理運営

- ・イベントの十分な頻度や収益性を確保して継続的に実施するために、道路を維持管理する都市再生推進法人を公共性を有する占有主体として位置付ける必要がある

#### (3) 路上イベント等の収益の道路空間管理運営への還元効果

- ・ロイヤリティ率 10%と仮定し試算すると、【収入】1,800~3,550万円(キッチンカー・マルシェ等)、【支出】1,624~2,048万円(道路維持管理等)【収支】176~1,502万円 道路空間活用の収益還元による高質な道路空間管理、余剰収益の公共空間への投資活用が可能